

ちけん 治験管理室便り No.11

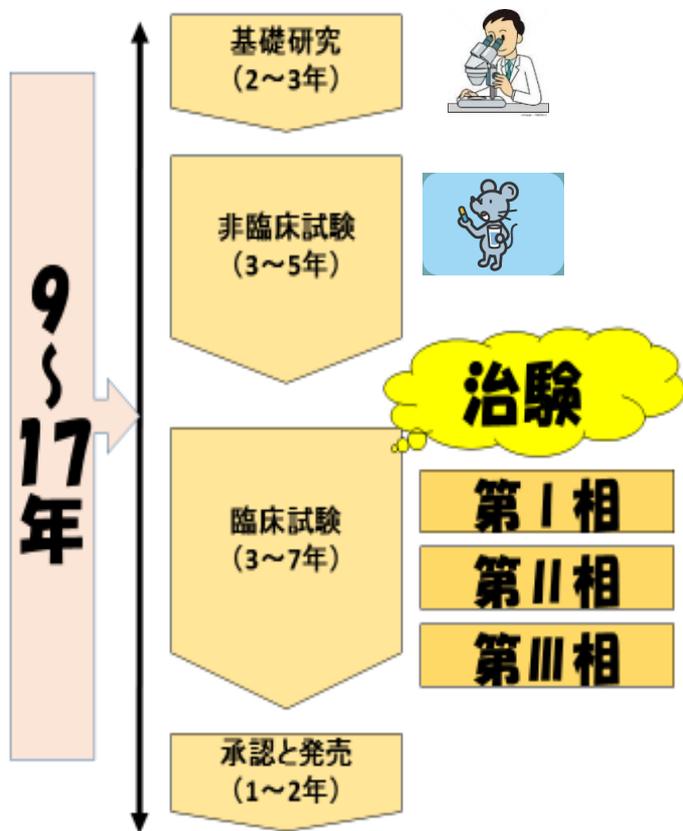
2016年11月

秋も一段と深まり、日だまりの恋しい季節となりました。
新メンバーになり、2回目の発行となります！

☆今回のテーマは・・・「**新しく承認されたお薬**」についてです。
当院で行った治験で承認された薬剤についてご紹介します。

ひとつのお薬ができるまで、どのくらいの年月がかかるのでしょうか・・・？

☆新薬開発のプロセスと期間☆



(日本製薬工業協会・治験促進センター ホームページより)

ひとつの薬の開発にかかる期間は、**9~17年**といわれています。

途中の段階で開発が断念されることも・・・。
薬は、必ず治験を経て有効性と安全性が確認されたうえで承認されます。
いま私たちが使用しているすべての薬は、
たくさんの患者さんたちのご協力によって
出来上がったものなのですね。

日本医師会
治験促進センター
キャラクター
ちけん君♪



新薬の開発には、非常に高度な技術が必要とされるため、
創薬できる国は世界でもごくわずか。そのなかで日本は、アメリカ、
スイスに次いで**世界第3位**の開発品目数を誇る新薬創出国です。
(医薬産業政策研究所「政策研ニュースNo.47(2016.3)」より)

日本で開発され、世界で注目されている薬もたくさんあるんですね！！

これまで当院で実施した治験から、**新薬**が誕生しています。

H25年度～28年度実施治験

承認薬名	対象疾患等
抗悪性腫瘍剤 ファリーダック®カプセル 	血液内科 竹迫医師 再発又は難治性の 多発性骨髄腫
抗造血器悪性腫瘍剤 レブラミド®カプセル+デキサメタゾン 	血液内科 竹迫医師 効能・効果に 未治療の多発性骨髄腫が 追加承認
高コレステロール血症治療薬 レパーサ®皮下注 	循環器内科 佐藤医師 家族性高コレステロール血症 又は高コレステロール血症
プロテアソーム阻害剤 (骨髄腫細胞の増殖を阻害する) カイプロリス®点滴静注用 	血液内科 竹迫医師 再発又は難治性の 多発性骨髄腫
ダビガトラン特異的中和剤 (抗凝固薬の効果を中和する薬) プリズバインド®静注液 	救急科 加藤医師 ダビガトランの抗凝固作用 の中和

引き続き、皆様に治験についての情報等を
 わかりやすくお知らせしていきたいと考えております。
 治験管理室便りを今後ともよろしくお願いいたします♪

